

第1学年2組 道徳科学習指導案

日 時：令和3年11月4日(木) 第5校時

場 所：1年2組教室

指導者：宗野 彩菜

本時の授業の視点

視点1 考える必然性や切実感のある発問

○「たべかすを見つけたときの心の天気はどれでしょうか。」と問い、心情とその理由を考えることで、しろちゃんの迷いに共感しつつも、誰かがしていてもだめなことはだめだと気付けるようにする。

視点2 物事を多面的・多角的に考えるための交流の在り方

○畑の持ち主に視点をあてたり、心の天気カードを使って対話したりすることで様々な見方があることに気付かせる。

視点3 自己の生き方について考えることのできる発問と振り返りの在り方

○終末で、心の天気がピカピカの「はれ」になった経験について問うことで、自分の経験を価値付け、これからの生活の中で進んで正しいことを行おうとする心情を育む。

1 主題名 だめなことはだめだよ(Aー善悪の判断、自律、自由と責任)

2 教材名 「にんじんばたけで」(「小学道徳 生きる力1年」日本文教出版)

3 ねらい 畑でのしろちゃんの心の動きを考えることを通して、自分の都合のよい考えで判断することの間違いに気づき、よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳諸価値について

人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じる場所に従って、誠実かつ謙虚に行動することは、人として重要なことである。1年生の段階では、何事にも興味、関心を示し意欲的に行動することが多い反面、まだ集団生活に十分に慣れていないために、引っ込み思案になったり物おじしたりすることも少なくない。積極的に行うべきよいことと、人としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を養うことが大切である。よいと思ったことができたときの心地よさや心が元気といった気持ちを知っていくことで、よいと思うことを進んで行おうことができる心情を育てたいと思い、この主題を選んだ。

(2) 児童の実態について

本学級の児童30名(男子17名、女子13名)は、何事にも興味、関心をもち、積極的に行動することのできる児童が多い。物事の善悪について、間違ってしまったときには素直にふり返り、謝ったり反省したりすることができる。しかし、トイレのスリッパをそろえなかったり、授業中に喋ってしまったことがある。よくないことだと分かっているにもかかわらずという理由でついしてしまう児童もいる。また、国語科や道徳科の授業で登場人物の気持ちを表す際に、「うれしい」「いやな気持ち」などの言葉は出るものの、まだ語彙が乏しいため、多様な気持ちを表現することが難しい。

1学期末に実施した重点内容項目についてふり返る3つの心の「心のクローバーチェック」では、よくできたと答えた児童が、「あきらめない心」では22人、「正しい心」では13人、「広い心」では16人という結果から、正しい心を意識させ、物事の善悪を正しく判断し行動する力を身に付けさせたい。また、よいと思うこと、正しいと思うことを行う心地よさや、それがより安全に楽しく学校生活を送ることにつながるということに気付かせたい。

(3) 教材について

本教材は、うさぎたちの「畑に入っちゃいけない」「みんなもやっているからよい」という心の揺れを描いたものである。しろちゃんの心の動きや迷いに注目し、共感させながら誰かがやっても、だめなことはだめだという判断へと変容していく姿を捉えさせたい。さらに、元気に野原を走って行くうさぎの姿から、正しいことを実行することの心地よさにも気付かせ、正しいことを実行することの価値にも気付かせたい。

(4) 指導の工夫について

- 心の天気カードを使い、うれしい気持ちやすっきりという気持ちなどを「はれ」、迷う気持ちなどを「くもり」、悲しい気持ちや残念な気持ちなどを「あめ」で表し、その理由を問うことで多様な気持ちを引き出せるようにする。
- 導入部では、今まで周りに流されて行動してしまった経験について事前アンケートをとったものを提示することで、本時の課題をつかむ。
- 展開部では、ペアで自分の考えを伝え合うことで、友達の影響にも触れられるようにする。その際に、交流しやすいよう、心の天気カードを1人1枚持たせ、天気を指しながら思いを交流させる。また、しろちゃんだけでなく、畑の持ち主の気持ちを考えさせることで、多面的・多角的に考えられるようにする。
- 終末部では、これまでの生活をふり返り、よいと思うことをする心地よさを価値付けることで日常生活において、これからの自分について考えられるようにする。

5 本時

(1) 準備物 心の天気カード、場面絵、ワークシート、ペープサート

(2) 学習過程

展開	学習活動・学習内容	教師の手立て(○)と評価(◆)
つ か む ／ 深 め る ／ ま と め る	1 周りに流されて行動してしまった経験について考え、本時の課題を理解する。 ・これまでの経験(人に流された経験)	○「みんながしているから自分もしてもよい」と思った経験について事前アンケートをもとに、本時の課題への導入を図る。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> よいことかよくないことか、かんがえよう。 </div> ・心のクローバー(正しい心)の提示 2 教材文を読んで3匹のうさぎの心の動きについて考え、話し合う。 ・場面ごとのしろちゃんの行動や気持ち ・立て札の意味と立てた人の気持ち	○心のクローバーのどの心の学習か意識させる。(正しい心) ○心の天気カードを用いて「はれ」「くもり」「あめ」を選ぶことで、しろちゃんの気持ちの変化を視覚的に分かりやすくする。 ○たべかすを見つけたときのしろちゃんの心情を、ワークシートの心の天気にかかせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【考える必然性や切実感のある発問】 たべかすを見つけたときの心の天気はどれでしょうか。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【物事を多面的・多角的に考えるための交流の在り方】 ○心の天気カードをもとに、ペアで考えを伝え合い、全体で共有することで、全体の場で発表しやすくすると共に、様々な意見に触れられるようにする。 </div>
	・にんじんを食べたい気持ち ・どうしようと迷う気持ち ・周りに流されない強い気持ち ・たてふだに従おうとする判断力	○全体で交流するときは、選んだ天気のわけを児童に問い返し、心情を深く掘り下げることで、うさぎたちの発言や、たてふだ、たべかすなどに影響されるしろちゃんの心の揺れに気付かせる。 ○板書は、心の天気ごとに分けて書き、ペープサートのしろちゃんを動かして心の揺れを視覚的に分かりやすくする。 ◆②〈発言・ワークシート〉 ○叱られるからだめという考えだけでなく、育てている大切にんじんだからだめだという考えに気付かせるため、たてふだに着目させ、畑の持ち主の気持ちについて考えさせる。
	3 野原を元気に走って行ったときの気持ちを考え、話し合う。 ・よいと思うことをする心地よさ(ピカピカの「はれ」) ・正しい判断をした喜び	○心の天気を比べさせ、同じ「はれ」でもどの場面がよりよい「はれ」(ピカピカの「はれ」)かを考えさせることで、よいと思うことをする心地よさを価値付ける。
4 自分の生活と関連付けて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【自己の生き方について考えることのできる発問】 何をしたとき、心の天気がピカピカの「はれ」になりましたか。 </div> ・教師の話 ・これまでのよいと思うことをした経験	○よいと思うことをする心地よさ(ピカピカの「はれ」)を自分の経験に置き換えて考えることで、自分の行動をふり返らせる。 ◆④〈発言〉 ○教師の体験談を話すことで、周りに流されることなく、よいと思うことを進んで実践しようとする心情を高める。	
5 今日の学習をふり返る。 ・心のクローバー(正しい心)の確認	○心のクローバーのどの心の学習だったかふり返る。(正しい心)	

6 評価

一面的な見方から多面的な見方へと発展させているかどうか。

②自分と違う立場や考え方を理解しようとしている。

道徳的価値理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか。

④読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。

7 板書計画

アンケートの結果

にんじんばたけ

よいことがよくないことか、かんがえよう。

うさちゃん
しらちゃん
ぽんちゃん

「たべたい。」
「おなかすいたな。」
「おいしそう。」

「たべられない。」
「でもがまんできない。」

うさちゃん
「だれかがたべているよ。」
「やったあー！たべられる！」
「だれかもたべているからいいよね。」
「どうしよう…」

「はいつたらだめっつかいてあるからだめだよ。」
「だれかがたべていてもだめだよ。」

「はたけにはいるな。」
「はたけにはいるな。」
「だいたいなんじんだからとらないでほしい。」

「ここがげんき。」
「きもちがいい。」

ワークシート

心の天気カード

にんじんばたけで

〇「こころのてんきであらわそう。」

たべかすをみつけたとき

てんき

わけ

なまえ

がくしゅうをふりかえろう

あきらめない
心
たたい
心
ひろい
心

～こころのてんきカード～

はれ

くもり

あめ